

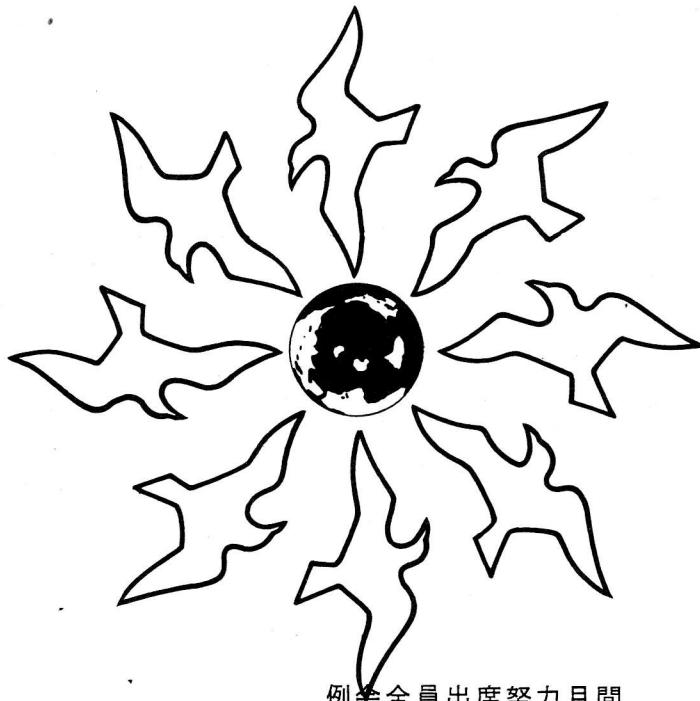
THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

PUT LIFE
INTO
ROTARY-
YOUR LIFE

ロータリーに
活力を--

あなたの
活力を



例会全員出席努力月間

PolioPlus



●次回卓語予定者

1989.6.30.(金) 第84回例会
本日のプログラム

1. 点鐘
2. ロータリー・ソング（我等の生業）
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 会員卓話
9. 点鐘

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒880-03 佐土原町大字上田島1883番地
TEL 0985-74-1078

会長 山脇 忍
副会長 池田 仁志
幹事 齋藤 数馬
会計 佐野 保
会報委員長 垂水 敏雄

第83回例会記録（平成1・6・23）

会長挨拶 山脇 忍

皆さん 今日は。 本日は第83回例会であります。

今日は食中毒についてお話しします。

私どもの住む環境の変化によって、食中毒は年間を通じて発生しています。

とは申しましても、梅雨から夏にかけて食中毒の発生は多くなります。

また、食生活の変化によって、食中毒にも変化が現れています。

家庭での注意を中心に、食中毒の新しい傾向について申し上げます。

ときどき新聞の社会面をぎあわせるのは集団食中毒です。

厚生省の衛生統計を見ますと、衛生状態が良くなかった昭和20年代と、現在とでは、年間の食中毒の件数はいずれも平均1万件前後、患者数は2万～4万人程度で、大差はありません。

ところが、1件あたりの患者数は、10人から40人近くへと大型化し、その一方で、死者数は数百人から61年度は7人へと激減しています。

日本の食中毒統計は、その正確さから国際的にも高く評価されていますが、それでも、届け出があるのはごく一部と考えられます。

ただし、50人以上の食中毒の届け出はかなり正確なので、中・大型食中毒は実情に近いと言えます。

しかし、家庭での食中毒は殆どもれていると考えられます。

今頃のシーズンになると、細菌類は繁殖しやすい一方、体は疲れやすく、人によっては軽い下痢に見舞われることは珍しくないことで

す。 大抵は重くなることもなく殆ど治ってしまいます。

何かに当たったかなとは考えても、原因は突き止めないのが普通です。

これらは、ほかの病気のこともあります。多くの多くは軽い食中毒の可能性があります。

これらの患者を含めますと、年間に3千万人ぐらいはかかるっているのではないかと推定されています。

食中毒には、以前にも申しました通り、化学物質や自然毒（ふぐ毒、毒きのこなど）によるものもありますが、頻度の高いのは細菌性のものです。

昭和56年までは、食中毒の統計に名前が載るのは、腸炎ビブリオ、病原大腸菌、サルモネラ菌属、ぶどう球菌、ポツリヌス菌ぐらいで、その他の菌は「その他」と一括されていました。

しかし、厚生省の研究班が調べた結果、下痢を起こす多くの原因菌が食品を介して人体に侵入していることが明らかになりました。

そのため、現在は、カンピロバクター、ウエルシュ菌、セレウス菌などといった、なじみの薄い名前が登場してきました。

これらの細菌は新顔のように見えますが、以前から存在していたのが一人前に扱われるようになりました。

なかでもカンピロバクターは、昭和57年に札幌市で、井戸水から7,751人の患者を出し有名になりました。

とは申しましても、新顔の細菌は、カンピロバクターを除けば、はつきりつかまつた事例は少ないようです。

このカンピロバクターという菌は、そ咬症の病原体と同じ科(Family)に入っていますが、主として鶏が保菌していると考えられます。

従って、鶏肉とか鳥の排泄物によって汚染された食品によって起こります。

時には、飲料水が汚染されると、大きな流行を起こすことがあります。

症状は粘血便の混じった下痢症状で、人から人への感染もあり、新生児や幼児に見られますが、最近では大人の感染も増えていますので、鶏肉及び卵については十分注意が必要です。

食中毒の主流を占めているのは、従来と同じく、海産魚介類からくるビブリオ、畜産品からのサルモネラ、人の下痢便からが多い病原大腸菌等であります。

そこで、家庭で食中毒を防ぐためにはどのようなことに注意すればよいか、それについて申し上げます。

第一に、食品には食中毒を起こす細菌が付いていてあたりまえ、と考えることです。

そのうえで、その細菌を増やさないようにします。

さらに、加熱調理して食べますが、調理したものは早く食べることが大切です。

加熱調理すれば、殆どの細菌は死にます。

例外はボツリヌス菌の芽胞と、ぶどう球菌の毒素だけです。

また、冷やした物は冷えているうちに食べることです。

食中毒を起さないための上手な買物の仕方も考える必要があります。

例えば、食品は鮮度の良いものを売る店を選んで買うとか、魚介類は買物の最後に買うとかの工夫もします。

食中毒は腐敗菌とは別物ですから、食品が腐敗臭がしないからとか、変色していないから大丈夫ということにはなりません。

食中毒菌が増殖した食品でも、一般に無色無臭で、肉眼及び嗅覚による観察では、そうでない食品と全く区別できることを是非知りたいと思います。

また、乳幼児のいる母親は、下痢を起こしている場合、手洗いを励行することが大切です。

排便後は、石けんを使ってブラシで爪や皮膚についた細菌を取り去る努力をしませんと、赤ちゃんに万一ということがありますので用心することが肝心です。



幹事報告

斎藤 数馬

例会変更通知が次のように来ています。

- ・小林RC 6月28日 19:00~
小林平安閣

1989~90年度

地区協議会報告(2)

6月17日 (第1回)

地区委員会次年度方針説明

- クラブ奉仕委員会 (委員長 田中千尋)

RC活動の基礎となる重要な委員会が、クラブ奉仕委員会である。

会員の親睦を深め、奉仕の心を磨く中枢的な委員会であることを十分留意していただきたい。

宮崎・鹿児島の県ごとに、各RCのクラブ奉仕委員長会を開いて、問題点や疑問点の解説を図りたいと考えている。

- 職業奉仕委員会 (委員長 丸田美穂)

奉仕とは、サービスという言葉で端的に表現される。

職業奉仕の理想とは、実業及び専門職業の道徳的水準を高めること、あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること、ロータリアンが職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること、と教示されている。

アーチャー会長は、職業奉仕が各会員の人生において稔り多き体験となるようにしよう、と呼びかけておられる。

RCは、立派な職業人をつくる道場である。

10月ごろに各RCの職業奉仕委員長研修会を予定している。
- 社会奉仕委員会 (委員長 池田卓郎)

地域社会の人々に、ロータリーへの理解を深めて、地域に根ざした社会奉仕活動を推進し、実践していただきたい。

宮崎・鹿児島の県別に、各RCの社会奉仕委員長会を開催したいと考えている。
- 青少年奉仕委員会・ローターアクト委員会 (委員長 岩澤光男)

ガバナー月信第9号に、ローターアクトの新方針を抜粋転載しておいたので、目を通されたことと思うが、提唱ロータリークラブとローターアクトは、やはり密接な連携を保っていくべきであると思う。次年度もローターアクトの設立促進に一層努力していただきたい。

インターハクト結成についても、地域の高校教師の理解を深めるよう積極的に働きかけていただきたい。

本年度のRYLAの出席状況は下記のとおりである。
- 國際奉仕委員会 (委員長 大津篤造)

青少年交換は、次年度に第763地区（アメリカ国デラウェア州）と実施することになった。青少年交換委員会は、次年度はその準備が主になる。

ロータリー・ボランティア活動委員会は次年度から3年の試行設置である。

世界社会奉仕、米山獎学会へ、どうすれば地区内RCの協力を得られるかを、十分検討していただきたい。
- ロータリー財団委員会 (委員長 岡村俊一)

ロータリー財団委員会の目的は、一口に言えばロータリー財団への寄付活動である。近年、財団への援助の要請が高まっている。

地区の1人当たり年間目標を50ドルとしてご協力いただきたい。（全国平均の約60%であるが）

ボリオ・プラス募金も次年度中に目標額を達成していただきたい。目標達成のRCはガバナー月信で発表する。
- 拡大増強委員会 (委員長 岡村俊一)

会員選考の基準は遵守して、ロータリアンとして適格者、そして例会に必ず出席できる人を選んでいただきたい。

RC未結成地区を分区ごとに検討して解消できるよう努力してもらいたい。
- 情報広報委員会 (委員長 外山三郎)

ガバナー月信を通じて、できるだけロータリー情報を伝えたい。2月に、各RC広報委員長会を開催する予定である

第83回例会 6月23日(金)

ビ ジ タ 一

西都RC 中武兵一郎氏・尾崎公男氏

出 席 報 告

会 員 数	19名
ホーム欠席者数	6名
ホーム出席者数	13名
ホーム出席率	68.42%
マークアップ者数	0名
欠席者名	郡司・武政・諸喜田 日高・上田・立山

県 別	研 修 生	ロータリアン
宮 崎 県	88	72
鹿 児 島 県	102	44